

公共事業等施行状況調（令和3年1月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (1月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		2年度 C	C/A	元年度 D	D/B	
		2年度	元年度	2年度 A	元年度 B					
1	治山・治水	26,588	24,947	17,932	15,249	13,495	75.3	13,388	87.8	
2	農林・水産	34,442	30,007	26,806	22,139	21,150	78.9	16,985	76.7	
3	道 路	56,264	53,779	35,220	31,854	31,110	88.3	26,858	84.3	
4	港湾・空港	6,938	5,790	3,712	2,665	2,660	71.7	2,380	89.3	
5	下水道・公園	8,551	6,143	2,314	3,550	2,016	87.1	3,129	88.1	
6	住 宅	2,090	1,738	1,680	1,099	1,375	81.8	1,058	96.3	
7	庁 舎	1,320	744	1,197	603	795	66.4	570	94.5	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	14,181	8,063	11,509	6,843	3,858	33.5	2,434	35.6	
11	工業用水・上水道等	1,042	1,242	89	148	81	91.0	118	79.7	
12	災害復旧	190	129	132	15	127	96.2	15	100.0	
13	その他	11,435	7,951	8,056	4,625	6,407	79.5	2,922	63.2	
	計	163,043	140,533	108,648	88,790	83,073	76.5	69,857	78.7	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年1月末）

（単位：社、件、百万円、％）

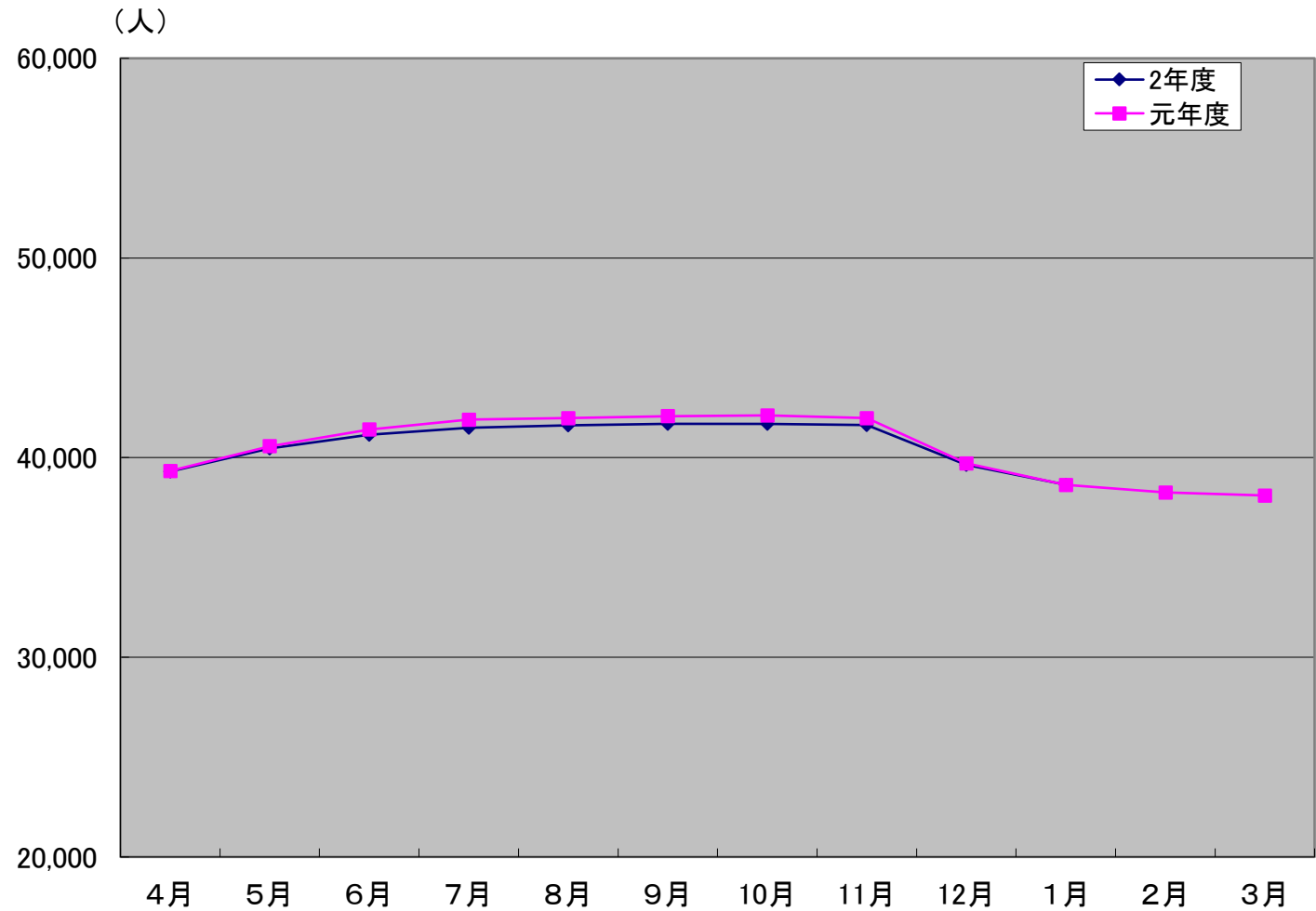
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
2年度	163,043	108,648	26,064	2,621	83,073	25,392	2,505	72,348	557	85	4,025	115	31	6,700
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					76.5	97.4	95.6	87.1	2.1	3.2	4.8	0.4	1.2	8.1
前年度比	116.0	122.4	101.8	102.9	118.9	102.0	102.8	113.6	90.7	91.4	140.9	125.0	163.2	200.5
元年度	140,533	88,790	25,594	2,548	69,857	24,888	2,436	63,659	614	93	2,856	92	19	3,342
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					78.7	97.2	95.6	91.1	2.4	3.6	4.1	0.4	0.7	4.8

被保険者数

	2 年 度	元 年 度
4月	39,303	39,329
5月	40,467	40,575
6月	41,148	41,411
7月	41,492	41,898
8月	41,611	41,985
9月	41,687	42,080
10月	41,689	42,115
11月	41,636	41,978
12月	39,646	39,712
1月	38,642	38,636
2月		38,252
3月		38,104

前月末被保険者数	39,646
資格取得者数	412
資格喪失者数	1,419
転入者数	3
転出者数	0
今月末被保険者数	38,642

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)1月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年2月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の昨年12月の販売量は3万トン(セメント協会調べ)で前年同月比10.2%の増加。普通ポルトランド(バラ)でトン当たり13,400円と前月比変わらず。メーカー各社は、値上げ未達分の浸透を目指し、需要家と粘り強く交渉を続けるも、主たる需要家の生コンメーカーは、生コン需要の低迷や骨材調達などのコスト増加が経営を圧迫しているとして、値上げに抵抗。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			商いは閑散としており、需要は盛り上がりや欠く展開が続いている。需要低迷により需要家の購入姿勢は厳しさを増しているなか、メーカーは、鉄などの原材料、運搬コストの増加を理由に一部製品の値上げを実施し、浸透した。先行き横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の1月の出荷量は3万1千m3(生コン工組調べ)で前年同月比0.4%の減。一部の地域では来年度の価格の値上げを打ち出しているものの、需要が減少している中で交渉は難航している。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○			荷動きは精彩を欠いており、一部の洗砂メーカーは、需要減少下での生産設備更新費用の確保や人件費上昇を理由とする値上げの交渉を続けていた。主な需要家の生コンメーカーは、製品需要減少を理由に抵抗していたが、メーカーが粘り強く交渉を続けたことで、ここに至り値上げ額の一部が浸透した。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり78,000円と前月比4,000円の上伸。昨年12月の鉄スクラップ価格の高騰を背景に、メーカー各社は採算改善に向けて販売価格を段階的に引き上げている。1月下旬からの鉄スクラップ価格の大幅下落を受け、需要家は値上げに難色。しかし、流通筋が売り腰を強め、販売価格の見直しに動いたことで、値上げ額の一部が浸透した。鉄スクラップ価格の下落は一時的との見方が大勢で、メーカー、流通筋とも値上げ未達分の浸透を目指す構え。目先、強含みの見通し。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			1月の県内出荷量は2万2千トン(合材協会調べ)で前年同期比110.1%の増。復興道路関連向けは大幅に伸びたものの、一般物件の需要は冷え込んでおり、物件等の先行きも不透明である。こうしたなか、需要家の値下げ要求は強いものの、メーカー各社は、出荷量減少による固定費率の上昇に加え、ストアス価格上昇による採算悪化を理由に、現行価格の維持に努めている。先行き横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。昨年12月の県内新設住宅着工戸数は433戸で前年同月比4.8%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比7.3%の減少、それに次ぐ貸家が同53.3%の増加と大幅に伸びた。新型コロナウイルス感染症に伴う経済の不透明感が払拭されない状況下、全国の新設住宅着工戸数は18カ月連続で減少し、建築用木材の需要は低迷から脱しきれずにいる。こうしたなか、丸太価格の上昇が顕在化している米松や、コンテナが滞り気味となっているレッドウッド・ホワイトウッド等に品薄感が生じている。流通業者は仕入れコスト上昇を懸念しつつ、市中の引き合いが少なくないため模様眺めに徹する姿勢。目先、横ばいの見込み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり96円、重油はローリー渡りで57円と共に前月比3円上伸した。米国の追加経済政策や新型コロナウイルスに対するワクチン開発の進展を背景に原油相場が上昇。これを受け元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。足元では主要産油国の協調減産により需給が引き締まってきているが、新型コロナウイルスが再拡大することで燃料需要が再縮小するとの見方もあり、原油相場は模様眺めの様相を呈している。目先、横ばいの見通し。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,280円と前月比30円の上伸。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生産性悪化、労働者不足、雨季による原木不足等により現地生産量が減少。さらに船・コンテナの不足等も加わり、入荷量は依然として低水準のまま推移している。実需が低調に推移するなか、輸入商社が段階的に値上げを実施したため、流通筋も販売価格引き上げの動きを強め、上伸した。今後も入荷量の増加が見込めず、市場における先高観は強い。目先、強含みの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり86,000円と前月比前月比2,000円の上伸。年末に高騰した鉄スクラップ価格が急落するなか、需要家の購入姿勢は厳しさを増し、メーカーが打ち出した値上げへの反発も見られる。メーカー各社は、鉄スクラップ価格の下落は一時的とし、価格優先の販売姿勢を崩していない。流通筋は、こうしたメーカーの販売姿勢を受け、仕入れ価格上昇分を販売価格に転嫁しようとして売り腰を強め、値上げ額の一部が浸透した。今後も販売側の売り腰が緩む気配はなく、目先、強含みの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年2月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	4.9	3,467	2.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	103,000	2.0	103,000	2.0	103,000	2.0	103,000	2.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	78,000	5.4	78,000	5.4	78,000	5.4	78,000	5.4	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	74,000	0.0	74,000	0.0	74,000	0.0	74,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	96.0	3.2	96.0	3.2	96.0	3.2	96.0	3.2	96,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	57.0	5.6	57.0	5.6	57.0	5.6	57.0	5.6	57,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,280	2.4	1,280	2.4	1,280	2.4	1,280	2.4	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	86,000	2.4	86,000	2.4	86,000	2.4	86,000	2.4	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

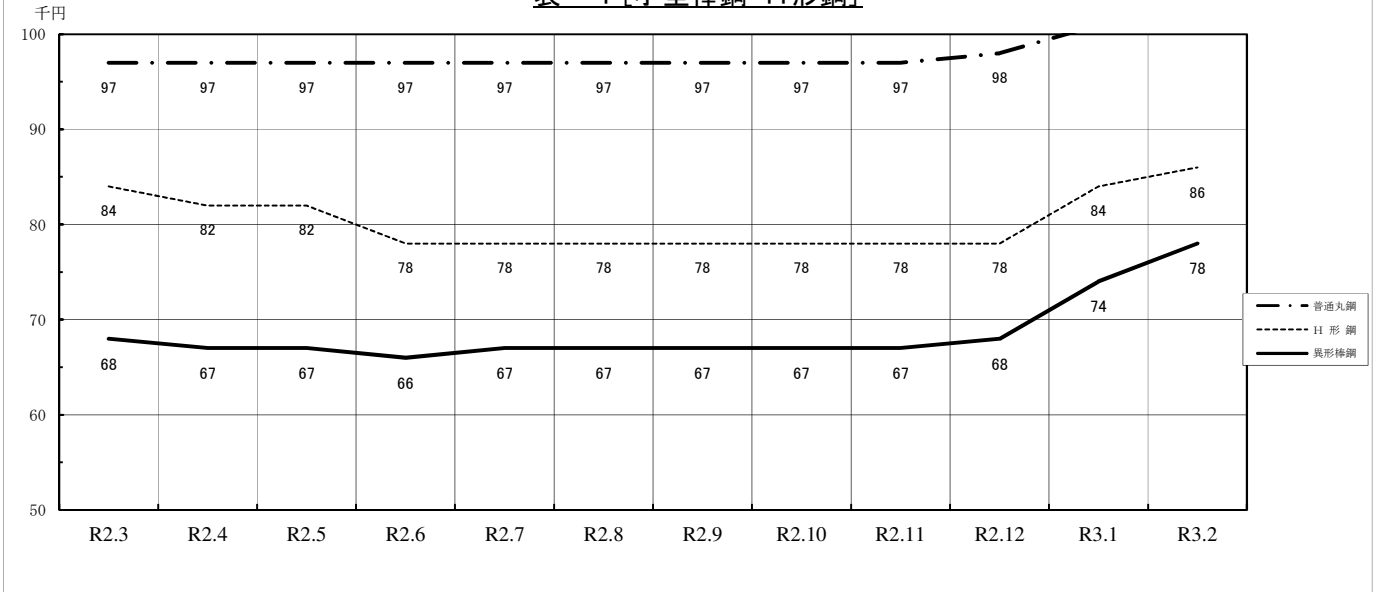


表-2 [セメント・生コン]

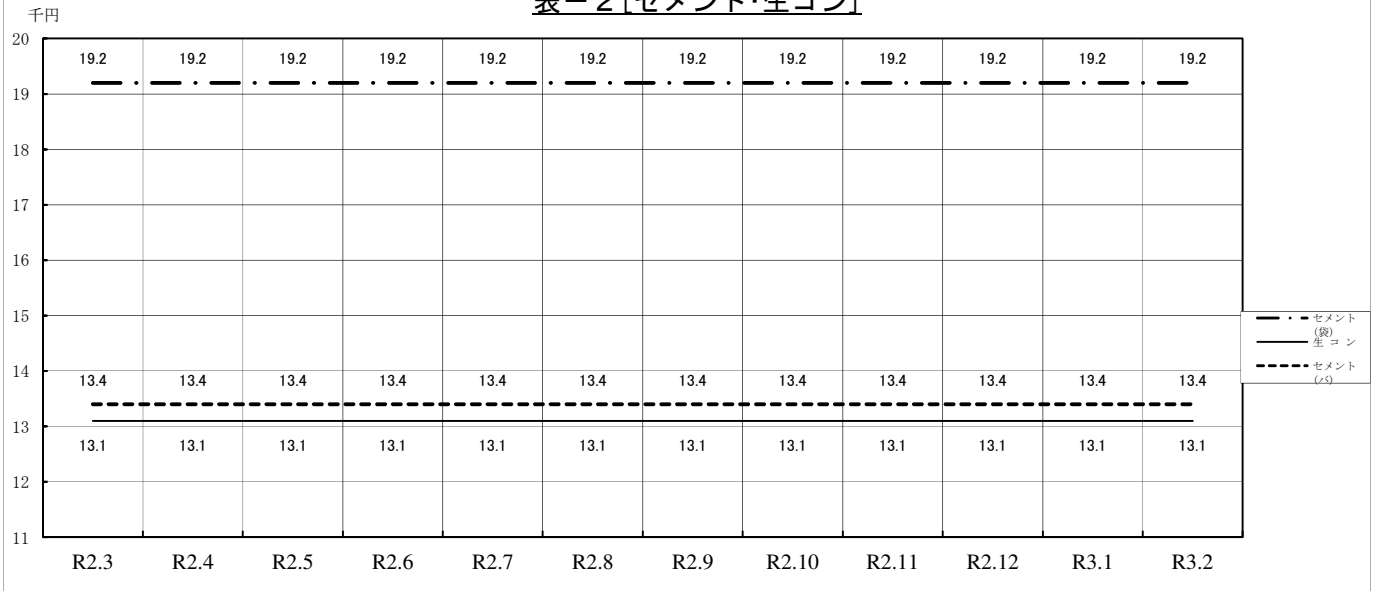
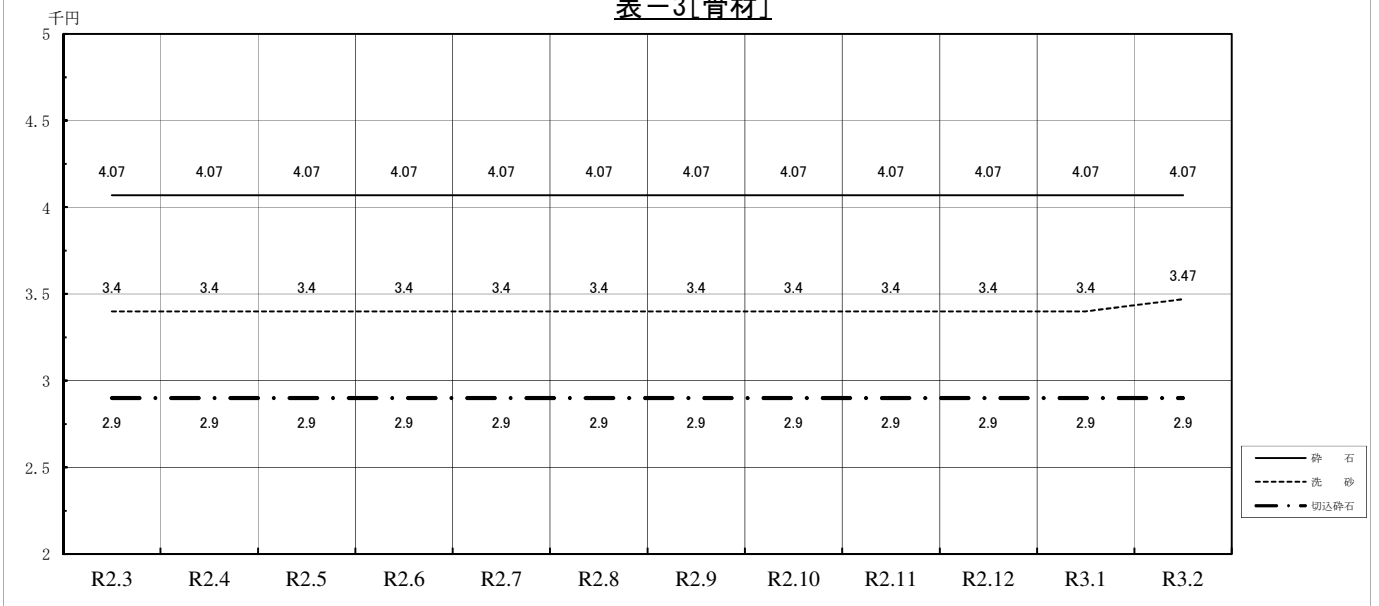


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

